
最後の春休み

翠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最後の春休み

【Nコード】

N6429B

【作者名】

翠

【あらすじ】

過去の片思いを思い出す話。幾度も巡った春の後、彼女は今・・・

（前書き）

別れの季節なので書いてみました。

ガタン・・・・ゴトン・・・・

あなたは今でも私を覚えていますか？

話すことすらなくて、目が合っただけでも私は嬉しかったの・・・
ねえ、何処かで私を見つけたら、私と分かってくれる???

きつとあなたは私のことなんて覚えていないよね・・・。

揺れる電車。

ガタン・・・・ゴトン・・・・

過ぎ行く景色。

ガタン・・・・ゴトン・・・・

卒業を迎えたあの日から、もう幾度も春は巡ったのに……

私の想いは変わらないの。

あなたに思いを馳せても・・・

ゆるる景色と共にきえていくの……

[illegible]

私との接点なんてひとつも無かった、あなた。

だ
け
ど
・
・
・

誰にでも優しく、いつも楽しそうにしているあなたの姿は私にと
って憧れでした。

それは届くはずの無い想い。

それは・・・私の片想い。

言いよつた無い愛おしさに狂いそうになるの。

高校を卒業すれば、あなたはいずれ私のことなど忘れてしまうので

しょうね。

そして新しい環境で、新しい友達と笑い会うの。
せめて・・・気持ちだけでも・・・。

だけど、臆病な私にはそんな勇氣・・・あるわけない。
ゴメンね。

私に、ゴメンね。

せつかくココまで人を好きになれたのに・・・。

出来れば心の片隅でも構わない。

贅沢なことは言わないから・・・

だから、お願い。

少しでも私の存在を覚えていてほしいの。

これは私の精一杯の勇氣。

あなたのことを想っていた「私」がいたことを知って下さい。

「ずっと好きでした」

口に出して言えないけど、

ずっと・・・ずっと・・・あなたのことが好きです。

これから、私も新しい人を好きになつて、
そしていつかはあなたを忘れるのかもね・・・。
それでも・・・この街を離れる、「今」の私の気持ちを残したいの。

あなたの机に残した私の最後の勇気。
使ったシャーペンが大事にするよ。

さよなら。愛しい人。

最後の春休みは切なかった。
でも、陽光のせいかな・・・？
少しだけ、幸せな気分なんだ・・・。

[illegible]

揺れる景色・・・
あなたへの思いは変わらない・・・
あの最後の春休みのように・・・
今も私は・・・

私は・・・

視線を上げると向かいに座っていた人と目が合った。

ガタン・・・ゴトン・・・。

揺れる電車の中。

「久しぶり。」

それは愛しいあなたの声でした。

（後書き）

最後まで読んでいただき有難うございました。
まだまだ未熟ですが、今後ともよろしく願いします。感想などい
ただけたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6429b/>

最後の春休み

2010年11月22日15時40分発行